

# aHUSにおけるソリリス®の投与方法

## 用法及び用量

- ・導入期は週1回、その後、維持期は2週に1回ごと点滴静注する(5kg以上10kg未満では3週に1回ごと)。
- ・ソリリス®の投与中に併用療法としてPE/PI(血漿交換/血漿輸注)を施行する場合は、ソリリス®の補充投与を考慮する。

## 18歳以上の患者さんのソリリス®投与スケジュール

■ 導入期 ■ 維持期

週	1	2	3	4	5	6	7	8	9 (以後2週に1回点滴静注)
ソリリス®投与量	900 mg	900 mg	900 mg	900 mg	1200 mg	—	1200 mg	—	1200 mg

## 18歳未満の患者さんの体重別ソリリス®投与スケジュール

体重

体重	週	1	2	3	4	5	6	7	8	9 (以後2週に1回点滴静注)
40kg以上	ソリリス®投与量	900 mg	900 mg	900 mg	900 mg	1200 mg	—	1200 mg	—	1200 mg
	投与量	600 mg	600 mg	900 mg	—	900 mg	—	900 mg	—	900 mg
30kg以上40kg未満	投与量	600 mg	600 mg	600 mg	—	600 mg	—	600 mg	—	600 mg
20kg以上30kg未満	週	1	2	3	4	5	6	7	8 (以後2週に1回点滴静注)	
	投与量	600 mg	300 mg	—	300 mg	—	300 mg	—	300 mg	
5kg以上10kg未満	週	1	2	3	4	5	6	7	8 (以後3週に1回点滴静注)	
	投与量	300 mg	300 mg	—	—	300 mg	—	—	300 mg	

表中の投与量は1回量を示す。

## 投与スケジュール

### 18歳以上、18歳未満40kg以上

	週	ソリリス®の投与量	ソリリス®点滴静注300mg (10mg/mL)の調製方法
導入期 週1回の投与	1	900mg	<p>30mLバイアル×3本=90mL (本剤10mg/mL×90mL=900mg) + 生理食塩液等90mL → (本剤900mg/180mL=5mg/mL)</p> <p>希釈液5mg/mLの最終用量は、180mL</p>
	2	900mg	
	3	900mg	
	4	900mg	
維持期 2週に1回の投与	5	1200mg	<p>30mLバイアル×4本=120mL (本剤10mg/mL×120mL=1200mg) + 生理食塩液等120mL → (本剤1200mg/240mL=5mg/mL)</p> <p>希釈液5mg/mLの最終用量は、240mL</p>
	6	—	
	7	1200mg	
	8	—	
	9	1200mg	

14. 適用上の注意(抜粋)
- 14.2 薬剤投与時の注意
- 14.2.1 本剤は点滴静注用としてのみ用い、急速静脈内投与、皮下投与、筋肉内投与をしないこと。
- 14.2.2 本剤は独立したラインより投与するものとし、他の注射剤、輸液等と混合しないこと。
- 14.2.3 希釈した液を18歳以上では25～45分、18歳未満では1～4時間かけて点滴静注するが、患者の年齢、体重に応じて適宜調整すること。
- 14.2.4 本剤の投与中に副作用が発現した場合は、医師の判断で投与速度を遅くする又は投与を中止し、投与終了後、患者の症状が安定するまで慎重に観察すること。

## 18歳未満30kg以上40kg未満

		週	ソリリス®の投与量	ソリリス®点滴静注300mg (10mg/mL)の調製方法
導入期	週1回の投与	1	600mg	<p>30mLバイアル×2本=60mL (本剤10mg/mL×60mL=600mg) + 生理食塩液等60mL → (本剤600mg/120mL=5mg/mL)</p> <p>希釈液5mg/mLの最終用量は、120mL</p>
		2	600mg	
維持期	2週に1回の投与	3	900mg	<p>30mLバイアル×3本=90mL (本剤10mg/mL×90mL=900mg) + 生理食塩液等90mL → (本剤900mg/180mL=5mg/mL)</p> <p>希釈液5mg/mLの最終用量は、180mL</p>
		4	—	
		5	900mg	
		6	—	
		7	900mg	

## 18歳未満20kg以上30kg未満

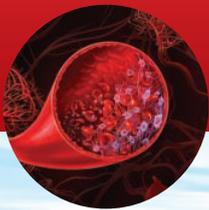
		週	ソリリス®の投与量	ソリリス®点滴静注300mg (10mg/mL)の調製方法
導入期	週1回の投与	1	600mg	<p>30mLバイアル×2本=60mL (本剤10mg/mL×60mL=600mg) + 生理食塩液等60mL → (本剤600mg/120mL=5mg/mL)</p> <p>希釈液5mg/mLの最終用量は、120mL</p>
		2	600mg	
維持期	2週に1回の投与	3	600mg	<p>30mLバイアル×2本=60mL (本剤10mg/mL×60mL=600mg) + 生理食塩液等60mL → (本剤600mg/120mL=5mg/mL)</p> <p>希釈液5mg/mLの最終用量は、120mL</p>
		4	—	
		5	600mg	
		6	—	
		7	600mg	

## 18歳未満10kg以上20kg未満

	週	ソリリス®の投与量	ソリリス®点滴静注300mg (10mg/mL)の調製方法
導入期	1	600mg	<p>30mLバイアル×2本=60mL (本剤10mg/mL×60mL=600mg) 生理食塩液等60mL (本剤600mg/120mL=5mg/mL)</p> <p>希釈液5mg/mLの最終用量は、120mL</p>
	2	300mg	<p>30mLバイアル×1本=30mL (本剤10mg/mL×30mL=300mg) 生理食塩液等30mL (本剤300mg/60mL=5mg/mL)</p> <p>希釈液5mg/mLの最終用量は、60mL</p>
維持期	3	—	
	4	300mg	
	5	—	
	6	300mg	

## 18歳未満5kg以上10kg未満

	週	ソリリス®の投与量	ソリリス®点滴静注300mg (10mg/mL)の調製方法
導入期	1	300mg	<p>30mLバイアル×1本=30mL (本剤10mg/mL×30mL=300mg) 生理食塩液等30mL (本剤300mg/60mL=5mg/mL)</p> <p>希釈液5mg/mLの最終用量は、60mL</p>
	2	300mg	<p>30mLバイアル×1本=30mL (本剤10mg/mL×30mL=300mg) 生理食塩液等30mL (本剤300mg/60mL=5mg/mL)</p> <p>希釈液5mg/mLの最終用量は、60mL</p>
維持期	3	—	
	4	—	
	5	300mg	
	6	—	

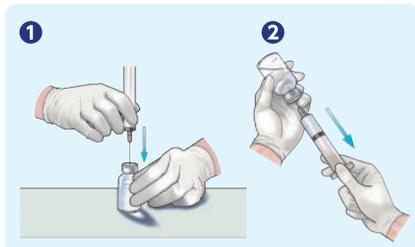


非典型溶血性尿毒症症候群

本剤の投与前に、本剤溶液に微粒子及び変色がないか目視検査を行うこと。  
以下の手順で、本剤を最終濃度の5mg/mLまで希釈すること。

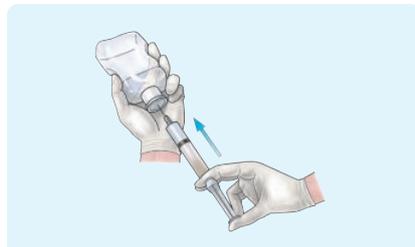
# ソリス®の調製方法 (例:点滴バッグの場合)

## 01 ソリス®の抜き取り



- 1 バイアルを安定した場所に置いた状態で、垂直に針を刺す。
- 2 滅菌シリンジ(注射針18G程度を使用)でバイアルから全量を抜き取る。  
※コアリングが発生しないよう注意してください。

## 02 点滴バッグに注入



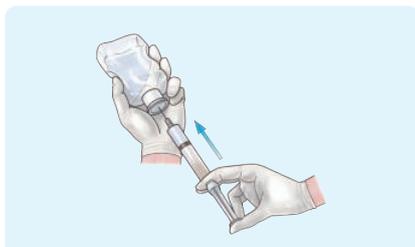
- 必要量のソリス®を点滴バッグに注入する。
- ※点滴バッグは必要量が充填できるサイズのものを用意してください。

## 03 希釈液の抜き取り



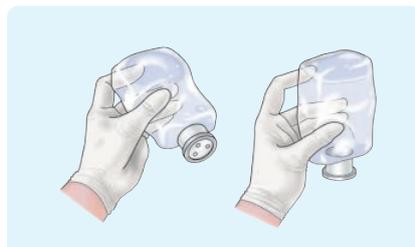
- 日局生理食塩液、日局ブドウ糖注射液(5%)  
又は日局リンゲル液を必要量抜き取る。

## 04 ソリス®を希釈



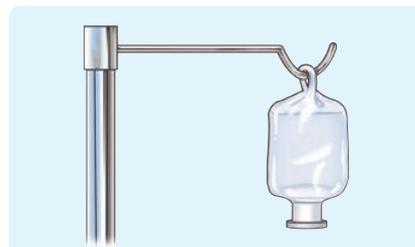
- ソリス®の入った点滴バッグに必要量の希釈液を添加し、本剤を5mg/mLに希釈する。

## 05 混和と確認



- 希釈した液を含有する点滴バッグを静かに倒立させるなど、緩やかに溶解し、混和する。  
(抗体タンパクが凝集するおそれがあるため、決して激しく振らないこと。)

## 06 室温まで放置する



- 希釈した液を投与前に室温になるまで放置すること。(加熱しないこと。)

- ※ 調製後、微粒子及び変色がないか、目視検査を行うこと。(変色、異物、その他異常を認めたものは使用しないこと。)
- ※ 調製後、希釈した液は速やかに使用すること。なお、やむを得ず保存する場合は、希釈した液は2~25℃で保存し、24時間以内に使用すること。

### 7. 用法及び用量に関連する注意(抜粋)

- 7.3 本剤の血中濃度の低下により、血栓性微小血管障害の増悪が懸念されるため、投与間隔を遵守すること。
- 7.8 血漿交換により本剤の一部が除去されること、新鮮凍結血漿内には補体C5が含まれることから、本剤投与中に血漿交換又は新鮮凍結血漿輸注を施行する必要がある場合は、血漿交換の施行後又は新鮮凍結血漿輸注の施行前に、下表を参考に本剤の補充投与を考慮すること。なお、下表はシミュレーション結果に基づき設定されたものであることから、補充投与後は患者の状態を慎重に観察すること。

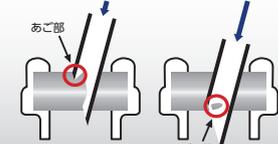
	直近の本剤投与量	本剤の補充用量	補充投与の時期
血漿交換	300mg	1回につき300mg	施行後 60分以内
	600mg以上	1回につき600mg	
新鮮凍結血漿輸注	300mg以上	1回につき300mg	施行 60分前

### ⚠ コアリング防止の為に、下記の事項に注意して穿刺してください。

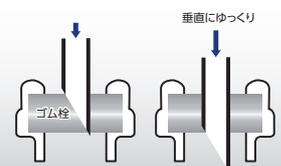
- 注射針を、ゴム栓の中央部にゆっくりと垂直に穿刺する。
- 注射針は穿刺途中で回さないようにする。
- 穿刺を数回行う場合は、同一箇所は避けるようにする。

### ✖ コアリング発生リスクのある刺し方

注射針を斜めに刺すと、針の先端によりゴム栓が削り取られ、ゴム片が容器内に混入することがあります。



### ○ 正しい刺し方



出典：輸液製剤協議会 ウェブサイト <http://yueki.com/>

### 製造販売元 [文献請求先及び問い合わせ先]

アレクシオンファーマ合同会社  
メディカル インフォメーション センター  
フリーダイヤル：0120-577657

受付時間：9：00～18：00(土、日、祝日及び当社休業日を除く)

HUS026(2)-1912  
2019年12月改訂